

第11回日本レーザー医学会

会期: 1990年11月8日、9日

場所: 金沢市文化会館

会長講演: 渥美和彦 「未来のレーザー医療の展開と基礎的研究」

特別講演: 久保宇市 「レーザーエネルギーと生体」

稲葉文男 「生物フォトンを主体とするバイオ

フォトニクスの最近の進展と応用」

招待講演:

Martin J.C. van Gemert Amsterdam

「Medical application of lasers with emphasis on angioplasty」

Sten Sander

Oslo

「Laser therapy in localized prostatic cancer」

久住会長は、当時世界に先駆けて金蒸気レーザー装置を英国オックスフォード大学より輸入、膀胱癌HpD-PDT法に導入された。本体は628nmで高出力のパルス発振型で、膀胱内視鏡に導入し膀胱筋層浸潤癌までの治療を可能とした。

シンポジウムではレーザーによる結石破砕とレーザー治療におけるハイパーサーミアがユニークであった。演題総数141題。

金沢大学・泌尿器科 久住治男

